

カーボンニュートラルに向けて

「水素燃料電池小型トラック」での店舗配送開始

株式会社ヨークベニマル(本社:福島県郡山市、代表取締役社長:真船幸夫)は、福島県とトヨタ自動車株式会社(本社:愛知県豊田市、代表取締役社長:豊田章男)が推進している「水素を活用した新たな未来のまちづくり」に参画し、Commercial Japan Partnership Technologies 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:中嶋裕樹)と連携することで「水素燃料電池小型トラックの実装検証」の準備を進めてまいりました。

「福島県発」の水素・技術を活用した新たな未来のまちづくりにおいて、生活インフラであり、また災害時の避難拠点でもあるスーパーマーケットが、水素燃料電池トラックで配送することで、環境負荷の低減につながることに大きな意義を持つと捉え、いち早い導入を検討してまいりました。

この度、郡山市内において「水素燃料電池小型トラック」での店舗配送を開始いたします。水素を燃料とし、電力に変え動力とすることで、二酸化炭素(CO2)を排出せず水(H2O)のみを排出し走行する環境にやさしいトラックでの社会実装検証です。

小売、物流、インフラ関連、そして自動車メーカーが一体となり、水素燃料電池トラックの運行管理と、エネルギーマネジメントシステムの構築(水素ステーションの最適なオペレーションづくり)を目的として進めてまいります。

2023年2月に1台、3月末に1台の計2台のトラックを郡山市内を中心に導入し、店舗配送を開始いたします。(運行ルートは、「ヨークベニマル郡山センター<郡山市大槻町字向原>」~「ヨークベニマル桑野店<郡山市桑野二丁目>」をメインに配送予定)

【「水素燃料電池小型トラック」の配送開始日とイメージ図】

配送開始日 2023年2月17日(金)より



※(株)ロジスティクス・ネットワーク様・郡山物流(有)様・(株)あさか野物流様のご協力のもと運行いたします。